

## 算数部活動の記録

部長 上野 朋 栄 (裏館小)  
副部長 本多 豊 子 (栄中央小)

### 1 今年度の部活動

#### (1) 今年度の部活動の概要

月 日	活動の概要 (活動名、概要、指導者等)	会場・参加者数
6月22日 (水)	<p>主 題 「算数科における伝え合う力を伸ばす指導の工夫」</p> <p>授業者 後藤 大介 教諭</p> <p>指導者 高橋喜一郎 教頭先生 (小千谷市立塩殿小学校)</p> <p>单元名 「倍と割合」</p> <p>概 要</p> <p>「算数科における伝え合う力を伸ばす指導の工夫」をテーマに、①絵や図、表、グラフなどの活用を促す掲示と課題掲示の工夫、②ワークシートの工夫、③考え方の違いによるグループ編成と3点の方策を立てて臨んだ。</p> <p>子どもたちは不足した情報から、「何が分かると課題解決できるか」考え、問題文を完成させた。問題解決の過程を絵や図に表し数量の関係を整理し、小グループに分かれて自分の考えを説明するときその図は友達の理解を助ける意味で有効であった。</p>	<p>須頃小学校</p> <p>29名</p>
9月28日 (水)	<p>活動名 「平成23年度新教育課程研究集会算数部会報告」</p> <p>報告者 伊藤 卓治 教諭 (上林小)</p> <p>古瀬 玲 教諭 (西鱈田小)</p> <p>新学習指導要領の趣旨説明と、新学習指導要領の趣旨を生かした実践発表を聞いた。二人とも算数科における言語活動を充実していくための実践であった。</p>	<p>裏館小学校</p> <p>27名</p>

#### (2) 今年度の成果と反省等

- 今年度は若手の部員から「授業研究をしてもよい」という前向きな声が出て、会を運営していくにあたりとてもやりやすかった。
- 2つの研修会とも参会者の意欲的な質疑や意見交換がなされ、会員同士学びの多い研修会となった。
- 授業者や発表者に負担がかかり準備が大変だったと思われる。

### 2 次年度の活動の方向

#### (1) 部会研修全体の進め方についての要望・検討事項

- ・これまでどおりでよい。

#### (2) 小教研事業についての要望・検討事項 (会議、総会、講演会、児童学習行事等)

- ・授業研究が一番具体的で即実践につながるので、来年度も大事にしたい。

#### (3) その他要望事項

- ・なし